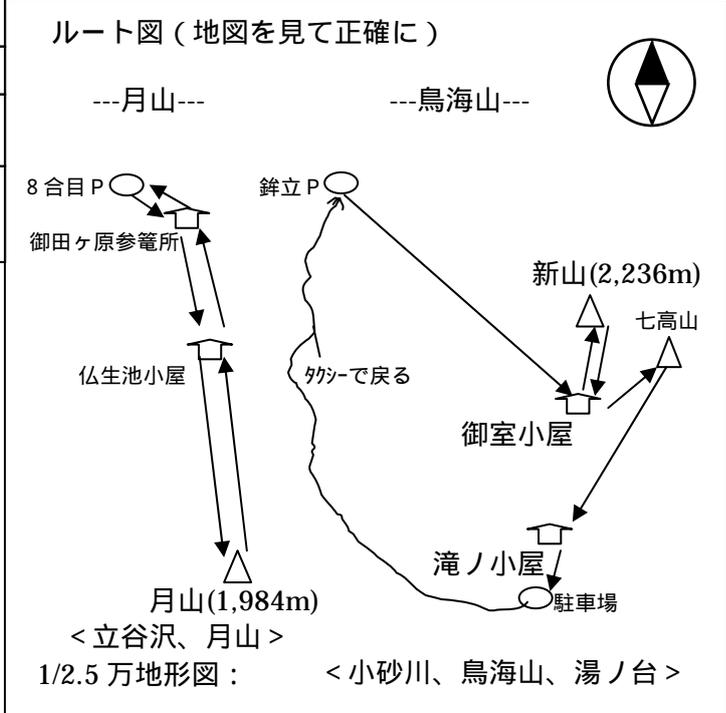


8 月度 例会 個人 山行報告書		報告者	岩崎芳彦	参加 メンバー	岩崎 芳彦 友人 A 氏、T 氏 計 3 名
		報告日	H.25.8.13		
山 域		山行日	月山： H.25.8/4~5 鳥海山：H.25.8/7~8		
山 名	月山、鳥海山				

山行目的	東北の夏山を楽しむ	コースタイム (天候：天気図記号)
------	-----------	-------------------

配布先
総会参加数
山行: 1
リーダー
原紙:
会事務局



8/4(日) 天気：晴れ 自宅発：3:00 月山御田ヶ原参籠所着 :15:20(泊)	小浜小屋：8:47-9:00 七五三掛：9:4-10:00 御室小屋：11:58-13:15 新山山頂：13:35-13:50
8/5(月) 天気：曇～晴れ 参籠所発：6:00 仏生池小屋：7:30-40 月山頂上：9:10-35 仏生池小屋：10:40-55 8合目P：12:15-50 酒田屋旅館：15:20(泊)	御室小屋：14:35 (泊) 8/8(木) 天気：霧～曇り 御室小屋発：6:45 七高山：7:10-15 行者岳：7:35-40 伏拝岳：8:00 河原宿：10:00 滝ノ小屋：10:54 駐車場：11:06-30 鉾立P：12:50-13:20 新潟宿：18:00(泊)
8/6(火) 天気：晴時々曇 酒田屋旅館発：9:05 ～周辺観光 宿「遊樂里」:15:00(泊)	8/9(金) 天気：曇～晴れ 新潟宿発：8:00 自宅着：16:20
8/7(水) 天気：曇り 遊樂里発：5:42 鉾立P：6:15-7:00 賽ノ河原：8:16	

山行報告 今年の夏山は、残雪と花のある山ということで月山、鳥海山登山を計画。事前にメンバーで3度のミーティングを重ね、日程やルートなどを検討し詰めてきた。東北の梅雨明けは遅く、気をもんでいたが出発前日ようやく明ける。遠距離のドライブということで早朝の集合スタート。鶴岡西ICで高速道を降りそこから一般道。順調に乗れたので途中羽黒山五重塔に寄り道。またビジターセンターへ寄り登山届を出して8合目Pに到着。

登山の支度をして濃い霧の中を歩き御田ヶ原参籠所に着く。宿泊客は少なく十分な広さでゆったり寝れる。8/5 霧の朝、いよいよ登山開始。ニッコウキスゲの咲く広い湿原に行く。やがて尾根道になり一ノ岳、二ノ岳を東側からまいて仏生池小屋に着く。池を見て一息。この先も歩き易い道が続き、遙かに鳥海山を見る。山頂で暫し休憩し下山。駐車場に戻ったと同時に雨、レストハウスで昼飯して遊佐町の酒田屋に泊る。8/6 昨夜の天気予報で警報が出ていたので登山は延期し観光。8/7 曇、車を鉾立駐車場に止め鳥海山登山を開始。長い石段を登り、賽ノ河原を過ぎ、七五三掛から干蛇谷。此の辺りはコバイケソウの群生が見事。ガスの晴間から頂上を仰ぐ。予約しておいた御室小屋は余裕があった。荷物を置いて山頂の新山へ、岩塊の連続で両手を使い時々は尻もついて登り山頂に立つ。あまり視界がきかず。記念写真を撮り小屋に戻る。夕方晴れて夕焼けがきれいだった。8/8

朝は濃い霧で日の出は見え。出発の頃は晴れて新山がよく見える。外輪山の鞍部に荷物を置き七高山を往復。ここからは稜線(ふせあがみだけ)を伏拝岳まで下り、さらに長い雪渓をこえて滝ノ小屋登山口の駐車場までかなり急いで下山。タクシーは既に待っていてくれた。登山としてはここまでで、後は帰路になり新潟の東横インで泊。8/9 朝新潟駅の売店で土産を買って、来た道で自宅へと帰る。全走行距離 = 1,626km



確認 (リーダー)
岩
25/08/13
崎

作成 (報告者)
岩
25/08/13
崎

リーダー所見 今年の東北は梅雨明けしても高気圧の勢力が弱く快晴は無かったが、登山中は一度もカッパの世話にならず、幸運であった。いつか行きたいと願っていた「月山」「鳥海山」にこの年で登山でき幸せなり。どちらの山も美しい花の咲く期待した通りの山で感激した。これもメンバーの皆さんと山形県のお世話になった皆さんのお陰と心より感謝申し上げます。